

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

26年度 補正予算案

地方へ経済の好循環を拡大

衆院予算委員会 基本的質疑

衆院予算委員会は1月29日、30日の両日、総額3兆1180億円の平成26年度補正予算案の基本的質疑を行い、わが党からは稲田朋美政務調査会長と松本純衆院議員が質問に立った。同予算案は、昨年12月に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の裏付けとなるもので、地方経済の活性化や消費の喚起、生活支援などが柱。1月30日の同委員会でも締めくくりに質疑と採決が行われた後、同日夜の本会議で可決、参院に送付された。

稲田朋美政務調査会長

農業を守り、日本を守る 米価下落にも十分な対策



稲田朋美政務調査会長は冒頭、昨年の総選挙の結果を受けて「まさしくこれからの勝負。地方へ、中小企業へ、また暮らしが豊かになったと実感できるような、この2年間でやっていかなければならぬ

い」と強調。消費税率を10%に引き上げる平成29年4月に向けて、成長戦略と財政再建を両立させるため、政調会でも精神的な議論を行う考えを示した。その上で、成長戦略の「二丁目一番地」が規制改革であるとし、「改革断行国会」と位置づけられる今通常国会への決意を質問。これに対し安倍晋三総理は28年の電力小売り全面自由化、60年ぶりと

松本純衆院議員

資金繰り支援や地方創生全力 3000億円超の中小企業予算



松本純議員は最初、各地の農協や農業協改革を取り上げ者にとつて有益な改革

であり、「地域の農業を元気にするために進められる」ものであることを積極的に発信し、理解を得るよう提案。安倍総理も農産物の販売力強化などにより「農業の成長産業化に全力投球できるようにしていく」と述べ、農業者の視点に立った

改革に取り組む考えを示した。

平成26年度補正予算案 代表質問

後藤茂之衆院議員「成長資金の供給 積極的に取り組むべき」

関口昌一参院議員「自治体が望む規制緩和を認めては」

麻生太郎財務大臣 財政演説(要旨)

—経済の好循環を地方へ—

農業基本政策検討PT —基本計画の現実的な見直しを—

国土強靱化総合調査会 —「事前防災力」の強化を—

党日本の名誉と信頼を回復するための特命委員会

—情報収集の体制づくりを—

教育投資・財源特別部会 —財政学の観点からの教育財源—

1月の選挙結果

6面

解説・政治キーワード
—燃料電池車に補助金—

7面

佐藤綾子のパフォーマンス学講座 ▷35◁
—「覆水盆に返らず」—
座右の銘
「日々に新た」参議院議員 柘植 芳文

8面

ウイークリー自民
連載「風雲素描」第12回
—三木 武吉—

今週の紙面

2面

3面